



●全国大会全国大会福岡 24 参加募集

2024年6月29日(土)、30日(日)に開催される日本色彩学会第55回全国大会参加募集の前納の締切が5月27日(月)に決まりました。日本色彩学会の大会ホームページからお申込ください。

会場は福岡市の九州大学大橋キャンパス。正会員の参加費は8,000円ですが、前納の場合は、7,000円になります。

交流会の会費は別に4,000円となり、6月17日が前納の期限です。

総会・式典のみへ参加される場合は、参加費は不要です。

また、シンポジウム「哲学、芸術からみた色覚多様性(仮)」の聴講も参加費は不要です。

支払方法は、a) クレジットカード (PayPal) での支払いか、b) ゆうちょ銀行からの振込支払となっています。

詳細は学界のホームページを参照してください。

会期中、色彩関連機器・教材・ツール等を参加者に広く供覧するために九州大学 大橋キャンパス内で、色彩展示会<オープンカラーラボ形式>が開催されますので、楽しんでください。

(学会メールニュース No.506 から)

●色、回想：実験的色彩度計

色度計という物。可搬で屋外などの目に見える物の色度座標値を求められないかと頼まれた装置の話です。

実際の制作は別の人が行ったのですが、四角の窓にB,G,Rのフィルターを使った加色混合器です。

使う光源の分布と各フィルターの透過率から3色のフィルターの面積の変化で作られる混合色の色度を計算で求めます。バランスが良ければ「白」く見えます。

混合色と試料が並んで見えるように工夫して肉眼で観測します。試料と同じ色に見えるフィルターの位置から色度値を求るという物です。これは実験用の特注品ですが今ではパソコンを使ってモニター上で容易に加色法の実演が出来るのでより簡便な装置が可能と思います。学生実験で色度値を求める分光器を使った実習をしましたが、むしろテレビ画面やモニター上の色点の色度を求めるとしたらどうするか？ そのような思考と実験が色度図の理解に繋がるのか？ そうすればX,Y座標系と等差色度図U,V座標系の理解、そして色度図の利用方法への展開があるのか？ 手持ちの道具で実習できそうな気がします。(小川 梓)

●大辞泉ひろいよみ 60ーく

くちなし：梔子・梔・山梔子。アカネ科の常緑低木。暖地に自生し、高さ約2メートル。葉は長楕円形でつやがある。夏、香りの高い白い花を開く。果実は熟すと黄赤色になり、染料とするほか、漢方では「さんしし」といって消炎・利尿剤などに用いる。名は、果実が熟しても口を開かないことによる。

梔子色：クちなシの実で染めた、少し赤みがかかった濃い黄色。襲の色目の名で表裏とも黄色のもの。

梔子色染め：くちなし色に染めること。また、その染め物。

くちば：朽(ち)葉。枯れ落ちた葉。落ちて腐った葉。落ち葉。朽葉色の略。

朽葉色：枯れた落ち葉のような色。赤みを帯びた黄色。襲の色目の名で、表は赤みがかかった黄色、裏は黄色。秋に用いる。

嘴が黄色い：ひな鳥のくちばしが黄色いところから、年が若くて経験の足りないことを嘲っている言葉。

口紅：化粧のために唇に塗る紅。ルーージュ。器物の縁、特に陶磁器の口縁を赤く彩色すること。また彩色したもの。

口脇黄ば・む：幼稚で経験が少ないことを嘲っている言葉。くちばしの黄色い。(永田泰弘)